



お江戸舟遊び瓦版 1132号

水彩都市江東

こころ美しい日本の再生

安全・安心まちづくり

お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会

江東区千田 13-10

Eボート千葉大会 in 浦安 境川かわまちづくり

日時：11月9日9時～14時 所：境川潮風歩道橋先

主催：第12回Eボート千葉大会浦安実行委員会

趣旨： 私たちが暮らす千葉県は多様な水環境を有し、
水環境や水文化は千葉県の宝であり誇りです。この豊かな水環境、水文化を引き継いでいくために、老若男女を問わず、共に水辺の交流を楽しむことができる機会として、多方面からのご協力を得て、Eボート千葉大会を立上げ、2023年より浦安に移し、今年で3回目になった。

20チームが参加し、スタートから200mを2チームで競い、予選2回で順位を決定し、上位4チームが3位決定戦、決勝に進出した。楽しみながら！！



スタート！



がんばるぞー！



こどもさんも参加



揃っているかな？



もつ煮込みの出店も



乗り降りも大変？



緑のカーテン終了 土づくり講座+冬野菜作り

日時：10月26日 所：えこっくる江東

運営：江東エコリーダーの会

はじめに：緑のカーテン終了後の土の管理講座を開催。

開会挨拶：江東エコリーダーの会 本多会長

I. 土のあとかたづけと冬の野菜づくり：池田利行先生

1. 土のあとかたづけ=次の準備

土と植物の関係：土は植物に養水分を供給し、支持し環境から保護する

理想の土と3つの視点：土の物性の3性が適切に。

- ① 物理性：保水性・通気・排水性、適度な硬さ。
- ② 化学性：適度な養分、有害物質無し、適度なPH
- ③ 生物性：多種多様な微生物、病虫害がないこと。

2. プランター園芸での土の再生手順

i ゴミや虫を取り除く：病虫害の予防、雑草掃除を。

ii 土の消毒：太陽熱 土をビニール袋に入れて日向で放置、60℃以上の湯で10分晒す。

ベランダ栽培では、これまで病虫害の発生がないなら神経質にならなくて良い。

iii 再生材を加える：保水・排水性が良い、養分のある土、多種多様な微生物を含む

堆肥：糞尿、稲わら、生ごみなどの有機物を堆積し、微生物の働きで分解させたもの。

iv 肥料の追加：窒素飢餓の防止；微生物が窒素を消費し、植物利用分が不足するので養分土を。

iv PHの調整：適切なPH、土壌診断や酸度測定でPHを調べ、苦土石灰でアルカリ性に補正

v 再生材添加のコツ：消毒後に、練らずに土の粒子を潰さない、堆肥中の微生物に水をかける。

3. コマツナ栽培：10cm幅に溝を作り、深さ1cmに2粒を目安にまく。土を被せ、水を撒く。

間引き：2回。双葉ご本場が出たら1回目、本場が3、4葉になったら2回目。その後追肥。

亀戸大根栽培：深さ25cmプランターに、1cmの大きな穴をあけ、2〜5粒撒く。

栽培のコツ：水遣りはたっぷりと午前中。間引き後には土寄せを。保温や病害防止に不織布を。

肥料不足・過剰の症状：

窒素N；不足：下の葉からは黄化、過剰：葉が繁茂/根の成長抑制

リン酸P；不足：下の葉は淡緑化、葉裏の葉脈が暗紫色化

カリK；不足：下の葉に不整形の枯死斑

II. 土の再生実習：江東エコリーダーの会（山田、川口他）

根などを掘り起こし、除去する。菌類や細菌を60℃以上のお湯をかけて殺菌する。

天日消毒の場合は、2〜3日太陽光に当てる。道具は安く買えるものでも大丈夫。



根を掘り起こし



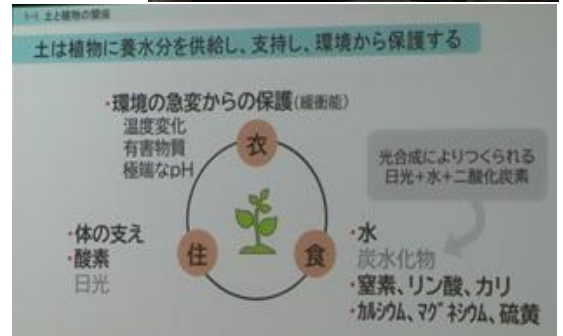
土を篩にかけて



ビニール袋に



再生土を加え



所感：猛暑の夏をみどり一杯、涼しくしてくれる、楽しいみどりのカーテンを来年も元気なミドリを継続できるように、土のあとかたづけと冬の野菜作りの講座が行われた。（文責 中瀬）